

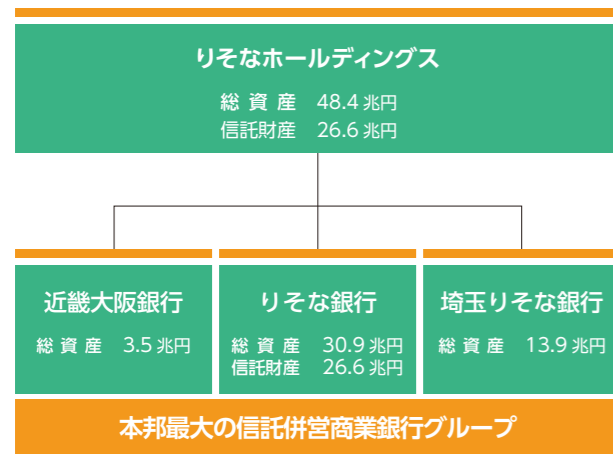
# お客さまの多様なニーズにワンストップでお応えできる 本邦最大の信託併営商業銀行グループです。

## 首都圏・関西圏に強固な営業基盤を確立

りそなグループは、りそなホールディングスの傘下に3つの銀行を持つ、総資産48.4兆円、信託財産26.6兆円を有する金融サービスグループです。フルラインの信託・不動産業務を展開し、グループの中核である「りそな銀行」、埼玉県で圧倒的なシェアを誇る「埼玉りそな銀行」、近畿を中心に118の有人店舗を展開する「近畿大阪銀行」が相互に連携し、お客さまに最適な商品・サービスを最適なタイミングでご提供しています。

### りそなグループ概要

2017年3月末



### お客さま基盤

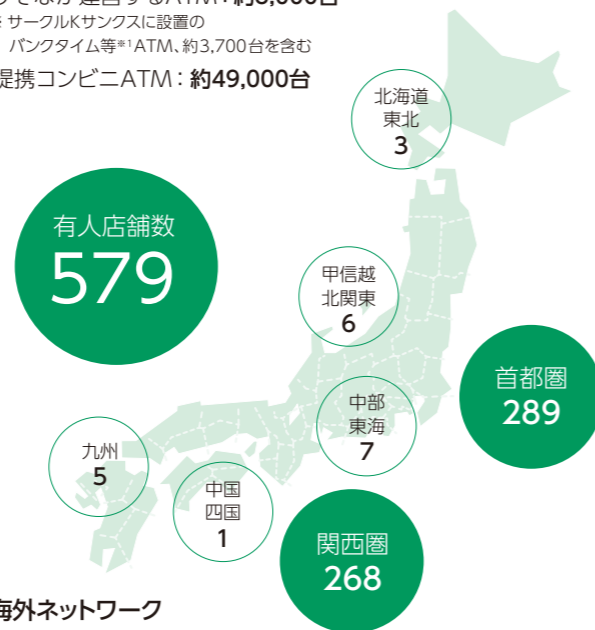
個人稼働口座 約1,300万  
法人取引先 約40万

### ネットワーク

2017年3月末

#### 国内ネットワーク

- りそなが運営するATM：約8,000台  
※ サークルKサンクスに設置のバンクタイム等<sup>※1</sup>ATM、約3,700台を含む
- 提携コンビニATM：約49,000台



#### 海外ネットワーク

- 海外駐在員事務所 上海、香港、バンコック、ホーチミン、シンガポール
- りそなプルダニア銀行(現地合併銀行) 本店：1、支店：2、出張所：5
- りそなインドネシア・ファイナンス
- 提携外国銀行：17行

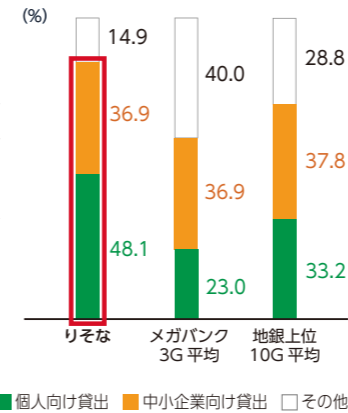
※1 りそなの支店にあるATMと同様の手数料体系をご利用いただけます

## りそなのポジション

### 貸出金ポートフォリオ<sup>※1</sup>

2017年3月末

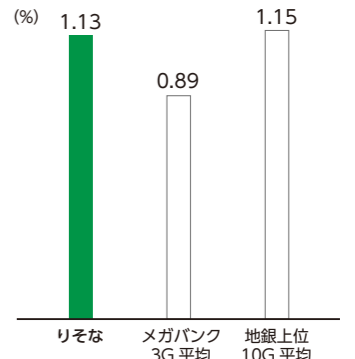
りそなグループの貸出金は、85%が個人と中小企業のお客さま向けで占められ、リテール業務に軸足を置いた貸出金構成となっています。



### 預貸金利回り差の比較<sup>※1</sup>

2017年3月期

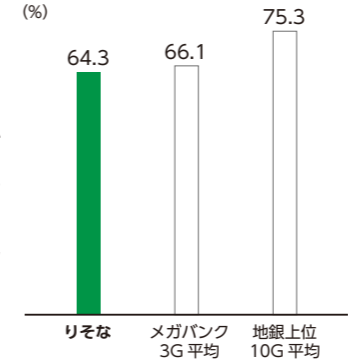
一般的に貸出利回りが低い大企業取引が少ないため、相対的に高い預貸金利回り差を確保する一方、貸出金が小口に分散されていることで、適切な信用リスクコントロールが可能となっています。



### 連結経費率の比較<sup>※2</sup>

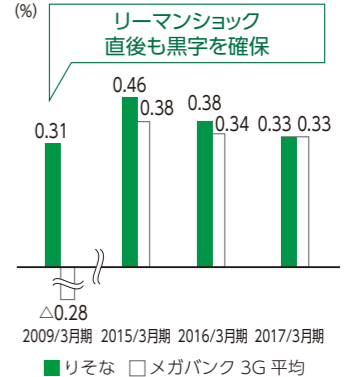
2017年3月期

リテール業務に特化した銀行でありながら、メガバンクグループや上位地銀と比較しても優位性のある経費率の水準を実現しています。



### 連結ROA<sup>※1</sup>

リテール業務に特化している点に加え、他行に先駆けて進めた政策保有株式の削減などの財務改革により、安定した黒字体質が定着しています。



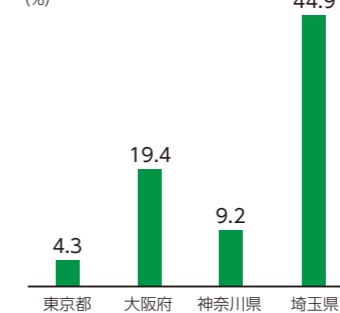
### 貸出金・預金のマーケットシェア

2017年3月末

りそなグループは、経済活動や人口が集積する首都圏および関西圏において、強固な営業基盤を確立しています。特に埼玉県における預金・貸出金の市場シェアは40%を超えるほか、大阪府でも20%近いシェアを獲得しています。

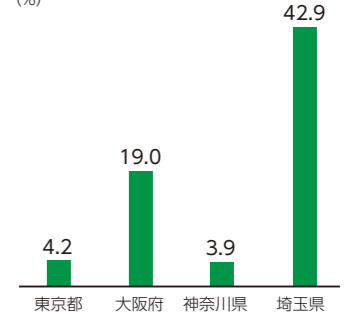
### 貸出金<sup>※3</sup>

(%)



### 預金<sup>※3</sup>

(%)



※1 各社決算資料、りそな：グループ銀行合算、メガバンク：三菱東京UFJ銀行+三菱UFJ信託銀行、みずほ銀行+みずほ信託銀行、三井住友銀行、地銀上位10G：連結総資産上位10地銀グループ（コンコルディアFG、ふくおかFG、めざきFG、千葉銀行、ほくほくFG、静岡銀行、山口FG、九州FG、西日本FH、北洋銀行）  
※2 連結経費率=営業経費÷業務粗利益  
※3 グループ銀行合算、日本銀行都道府県別預金・貸出金（国内銀行）に占める割合